

第4回 健康と 福祉

みんなの目標 SDGs

SDGs
世界をよりよく変えるための「持続可能な開発目標」。

国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す目標です。

「世界を変える!？」なんて、自分には関係ないと感じるかもしれません。

でも、あなたのほんの少しの意識と工夫で暮らしや働き方が変わり、一人ひとりの行動が、世界を変える第一歩になるのです。

SDGsは政府が推進し、いま、自治体・企業・地域へと広がっています。

3 すべての人に
健康と福祉を



みんなの目標：その3
「すべての人に健康と福祉を」

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し
福祉を推進する

科 学技術等の進歩や医療・福祉の充実、健康に対する意識や取り組みなどが相まって、日本は世界有数の長寿国となりました。私たちは必要に応じて適切な医療を受けることができますが、世界中の誰もがそうとは限りません。

世界では、毎年500万人を超える子どもが、5歳の誕生日を迎える前に亡くなっています。開発途上地域では、医療を受けられる女性が半分に過ぎず、妊産婦死亡率は先進地域の14倍に上がります。

子 どもから大人まですべての人々が健康的に安心して暮らせることは、自分自身にとっても、豊かな社会の構築にとっても重要です。SDGsでは、健康と福祉に関する達成すべき具体目標（ターゲット）を掲げています。

- ・世界の妊産婦死亡率を削減すること
- ・5歳未満児の予防可能な死亡を根絶すること
- ・エイズ・結核等伝染病の根絶及び肝炎等感染症へ対処すること
- ・若年死亡率を予防や治療を通じて減少させること
- ・世界の道路交通事故による死傷者を半減させること など13項目

参考：国際連合広報センターホームページ

【私たちが日常でできること】

◆禁煙や分煙をしましょう!

たばこが原因と考えられる医療費は、1兆5千億円にもなるといわれています。医療保険サービスを持続させるために、禁煙をすすめ受動喫煙を減らしましょう。

◆交通ルールを守ろう!

突然の事故によって、健康寿命は大きく損なわれてしまいます。長野県は、「信号機のない横断歩道での歩行者横断時」の車の一時停止率がNo.1。思いやりのある運転を心がけましょう。



イラスト・九間ハート

企画課 行政経営係